

ほっぺん

177 多忙中



薩摩郷句

兼題「自動車」

青年よつも自動車い惚れつ返事ずばしつ
(唱) 借つ来た車じやつたち知たじ
諸木小春

傷ず付けつ煩惱が切れた新か自動車
(唱) 見苦し傷が目に付つあーあ
西ノ園ひらり

退職つかあ買ったエコカーは飾いもん
(唱) 乗つ行つ所も無ごつなつたし
二見愚楽満

オートマが仇になつちよい自動車事故
(唱) ブレーキ踏んぬ即き忘れつ
高辻満夫

九十歳發免許を返納つ後悔をしつ
(唱) 手足すもがれた田舎ん暮らし
諸木美舟

大崎短歌会

祖父在らばその喜びは如何ばかり女系家族に
生まれし男の児
坂元つる子

奥多摩の茶屋の囲炉裡に山女魚焼く水車は廻
り遠き日想ふ
溝口稔

沖縄の夜月虹はほの白く幻のようテレビに映
る
児玉チヅ

今はただ夫の病治すのみ多少の不義理暫し許
して
高瀬睦子

ゆらゆらと童のおとしご棲みおりぬ魚ワール
ドに脚光浴びて
馬場みさ子

大崎俳句会

上棟の餅春泥に落ちにけり
溝口稔

野の風や三寒四温散歩道
中崎ハナエ

冬の川灯りきらめくしらす漁
三浦倫子

切干や寒の強さに香りけり
春田昌子

焼芋の賣声聞きつしまい風呂
二見淑子

恙なき万羽の鶴や北歸行
桑原正樹

水仙や深き眠りの蔵二つ
内田ちどり

今月の表紙



子どもの成長願いつるし雛!

静岡県の伊豆稲取が発祥と云われる『つるし雛』の展示があすばる大崎で行われました。夢工房龍宮の協力で、地域の子どもの成長を願って実施したものです。来場者は、色鮮やかなつるし雛に感嘆の声を上げていました。

人権啓発シリーズ②⑤

あなたの当たり前が、誰かを傷つけているかも。

～外国人の人権について考えるための『気付き』のヒント～

- 外国人と接する機会がないから、自分には関係ないことだ。
- 日本で暮らすなら、日本の習慣に合わせるべきだ。
- 外国人は怖い。

お互いの信頼関係を築いていくには、まずその人自身を知り、その国の言語や文化、習慣を知ること。触れ合う機会を持つことから、お互いの違いを知っていきましょう。